

道内海岸にある漁業小屋や番屋の紹介



講師
札幌市立大学
助教 金子 晋也

地域の“なりわい”を未来へつなぐ



講師
道総研
北方建築総合研究所
研究主任 石井旭

第1回
テーマ

北海道の魅力再発見
『海のある風景・暮らし』
2015年10月17日(土)
14:00~16:00

知ち活いゼきミナール

地域と一緒に知(ち)を活(い)かす共同セミナー

糖尿病予備軍だとしても



講師
札幌市立大学
教授 小田和美

健康・おいしいのための新技術



講師
道総研
中央農業試験場
主査 小宮山誠一

第2回
テーマ

ものづくり、ひとづくり、まちづくり
『北海道の食材で元気に！』
2015年10月24日(土)
14:00~16:00

事前申し込みが必要です。
詳しくは裏面をご覧ください。

参加
無料

共催



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

第1回テーマ 北海道の魅力再発見 『海のある風景・暮らし』

2015年10月17日(土) 14:00～16:00

道内海岸にある漁業小屋や番屋の紹介



札幌市立大学 デザイン学部
助教 金子晋也

本講座は、北海道沿岸部にみられる漁業小屋の魅力を、建築学の視点から読み解くものです。北海道沿岸部は、豊富な漁場として開拓期以前からの歴史があります。なかでも、鯉御殿(にしんごてん)は、その特徴を反映する建築として、文化財などの視点から評価されています。近年では、ドラマのロケ地として使われた羅臼の番屋なども観光施設となっています。この講座では、そのようなよく知られた建物だけでなく、どこにでもありそうな小屋を通じて北海道の魅力を考えていきたいと思ひます。

地域の“なりわい”を未来へつなぐ
～東北被災地の住まいの再建でみてきたこと～



道総研 北方建築総合研究所
研究主任 石井旭

自然に向き合い、“舫(もやい)”を基本とした持続的な暮らし——私たちは、東北被災地の住まいの再建に関わる中で、決して利便性や高所得を目指すことのみではなく、自然との対話や、人と人とのつながりを大切にす住まい方(住宅+α)を目の当たりにし、それがまちの復興において非常に重要であると気づきました。北海道のこれからを見据えて、いかに地域の“なりわい”を未来へつなげていくか、この講義を通じて考えていきたいと思ひます。

第2回テーマ ものづくり、ひとづくり、まちづくり 『北海道の食材で元気に！』

2015年10月24日(土) 14:00～16:00

糖尿病予備軍だとしても
～北海道の美食をあきらめない！～



札幌市立大学 看護学部
教授 小田和美

食の西洋化と便利になった生活に伴い、糖尿病の予備軍といわれる人々は年々増え続けています。この講座では、糖尿病予備軍といわれる身体の状態と、その状態をなぜ放置してはいけないのかなど「糖尿病予備軍」に関するトピックスについて解説します。さらに、たとえ糖尿病予備軍といわれても、グルメ王国北海道！どんなふうに食べたらよいか、「食べてHappy」をあきらめない方法について考えていきたいと思ひます。

健康・おいしいのための新技術
～健康機能性に富んだ豆製品と
おいしくて便利な果実加工品の開発～



道総研 中央農業試験場
主査 小宮山誠一

道総研が総力を挙げて取り組んだ「戦略研究(食産業)」で新たに開発された製品や技術を紹介します。昨年度までの成果の中から、機能性と便利でおいしいに着目して豆類と果実を使用した製品をピックアップ！豆類はイソフラボンの高い大豆「ゆきびりか」を使った味噌と小豆「きたるまん」のポリフェノールに着目したお菓子、果実はおいしさを閉じ込めた保存性の高いレアフルの開発についてお話しします。

申込方法

必要事項をご記入の上、
《下記の電話、FAX またはEメール》でお申込ください。

必要事項

- ① 講座名・開催日(「知活ゼミナール」・10月〇〇日)
- ② 氏名(※名簿作成のため漢字でお願いします)
- ③ 連絡先住所
- ④ 電話番号

※申込みいただいた情報は、参加者名簿、主催者からの連絡・案内のみに利用いたします。

対象者

一般市民の方(50名定員)・参加無料

お申込み・お問い合わせ先

札幌市立大学サテライトキャンパス
電話：011-218-7500 FAX：011-218-7507
Eメール：koza@acu-h.jp

開催場所



札幌市立大学 サテライトキャンパス
(札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階)
※札幌駅から地下直結

【道民カレッジの単位認定】

本セミナーは道民カレッジの連携講座となっており、単位認定されます。